

東金市教育委員会会議録

平成30年1月（定例会）

1. 日 時 平成30年1月22日（月） 午後1時30分開会
2. 場 所 東金市役所 401会議室
3. 招 集 者 東金市教育委員会 教育長 飯田 秀一
4. 議 題 議決事項

第1号議案 東金市教育委員会児童生徒表彰における基準の改正について

協議事項

1. 行事の後援について

（1）PEACE NUTS（ピースナッツ）V o 1. 4

報告事項

1. 専決処分した後援申請について
2. 諸報告

5. 出席委員
教育長 飯田 秀一
教育長職務代理者 川嶋 美佐子
委 員 戸田 俊雄
委 員 松寄 光孝
委 員 鈴木 正明

6. 出席職員
教育部長 鈴木 幸一 教育総務課長 醍醐 義幸
学校教育課長 澤畑 俊哉 生涯学習課長 栗原 伸治
スポーツ振興課長 佐久間英郎 中央公民館長 小川 孝司
東金図書館長 遠藤賢一郎 教育総務課副課長 飯塚 好男
教育総務課庶務係長 小倉 功照 教育総務課庶務係主査補 横山 修平

◎開 会

午後1時30分、飯田教育長より開会が宣告された。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

飯田教育長より鈴木委員を指名した。

◎日程第2 前回の会議報告

飯田教育長より平成２９年１２月２０日開催の東金市教育委員会定例会の会議録について意見を求めた。

全員異議なし

◎日程第３ 議件

○第１号議案 東金市教育委員会児童生徒表彰における基準の改正について

飯田教育長より東金市教育委員会児童生徒表彰における基準の改正について事務局に説明を求めた。

教育総務課長より東金市教育委員会児童生徒表彰における基準の改正について資料に沿って説明した。

<説明概要>

本件は、表彰範囲や主催団体等を明確にするとともに、学校側による候補者の把握漏れを防ぐことを目的として分かりやすい表記に改めた新たな基準について教育委員会の議決を求めるもの。

- ・こども県展と書初め席書大会においては特別賞を入賞とした。
- ・芸術・文化部門における入賞の範囲から佳作以下を除いた。
- ・スポーツ部門の県大会においては準優勝以上を表彰対象とした。
- ・東金市体育協会表彰規程に該当するものは対象から除外した。
- ・学校を通して応募、出場したものと定めることで、推薦の範囲を学校側にとって分かりやすいものとした。
- ・教育委員会が特に認めたものという項目を追加することで、例外的な大会、コンクール等についても対応できるようにした。

川嶋委員

全国大会の入賞については何位までが対象となるのか。

教育総務課長

８位までが対象となる。

戸田委員

学校側は把握していると思うが、県のトラック協会のカレンダーに正気小学校の児童が描いた絵が掲載されている。また、交通安全を呼びかけるポスターにも正気小学校児童の絵が載っているが、これらは表彰の対象となるのか。

教育総務課長

学校を通して応募したコンクール等であれば対象になる可能性があるので、学校から問い合わせがあれば推薦書を提出するよう伝える。

川嶋委員

インターネットが発達している時代なので表彰者を事務局側で調べることはできないか。

教育総務課長

過去にも様々な大会について調べたことはあるが、インターネットを駆使しても大会、コンクールの全部は把握しきれない。このため、学校を通して応募、出場したものという内容で基準を整理した。

全員一致で可決した。

◎日程第4 協議

○1. 行事の後援について

(1) PEACE NUTS (ピースナッツ) Vol.4

教育総務課副課長より行事の後援について資料に沿って説明した。

<説明概要>

本件は、PEACE NUTS CREW (ピースナッツクルー) という団体から申請のあった行事の後援について、東金市教育委員会行事の後援に関する規則に定める承認の基準を満たしていると認められることから承認を求めるもの。

全員異議なし

◎日程第5 報告

○1. 専決処分した後援申請について

教育総務課長 専決処分した後援申請6件について資料に沿って説明した。

○2. 諸報告

(1)飯田教育長 教育長行事予定(1月・2月)について資料に沿って説明した。

(2)教育部長 次回の市議会定例会について概要を説明した。

平成30年度当初予算について教育委員会関係の概要を説明した。

- (3)学校教育課長 学校教育課関係行事予定（1月・2月）について資料に沿って説明した。
長欠・不登校学校別一覧について資料に沿って説明した。
入学式、卒業式の日程及び担当について資料に沿って説明した。

- (4)生涯学習課長 生涯学習課行事計画（1月・2月）について資料に沿って説明した。

- (5)スポーツ振興課長 スポーツ振興課行事計画（1月・2月）について資料に沿って説明した。
11月から12月にかけて開催されたスポーツ大会の結果について資料に沿って説明した。

- (6)中央公民館長 公民館行事計画（1月・2月）について資料に沿って説明した。

- (7)東金図書館長 図書館行事計画（1月・2月）について資料に沿って説明した。

教育委員会からの報告事項

- 戸田委員 正気小学校で行われた夢の教室事業（スポーツ選手を先生として迎え、児童を対象とした講演会、ゲーム体験を実施するもの。）に参加したときの内容について報告した。
・5年生のクラスを対象に行われた。90分の授業を2コマに分け、前半45分は体育館でゲームを行い、チームにおける団結力の大切さを学んだ。後半45分は、元バレーボール選手の落合真理さんによる教室での座学であった。落合さんは小学生のときにバレーボール選手になることを志した。高校生のときにはキャプテンとして出場した大会で優勝したが、高校卒業後に入部した実業団チームが廃部になったり、怪我をしてバレーボールができなかったときの苦労話などを織り交ぜながら、選手として活躍する夢を実現したという体験談を話された。その後、児童たちは自分の夢を作文にして提出した。夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さを学ぶという素晴らしい授業であった。

- 鈴木委員 （今回が初めての教育委員会会議となる。）退職後より東金市社会

教育委員を務めているが、学校の教育課程以外の組織的な活動については、すべて社会教育分野の範疇になるということになっている。教育委員に就任したことを契機として、今後は社会教育だけでなく学校教育にも視点を当てて物事を見ていきたい。

松嵯委員

東金市成人式に参加した時の内容について報告した。
・成人式には今年で2回目の参加となるが、昨年は式典が始まってもザワザワしていて新成人がなかなか着席しなかった。毎年のかと思っていたが、今年の新成人は式典開始時から全員が整然と着席していた。

川嶋委員

東金市成人式に参加した時の内容について報告した。
・式典への参加者が年々減ってきている印象を受けた。対象者に比べて出席者が少ないのではないか。遠方に住んでいる人や外国籍の人が多いのかもしれないと感じた。

生涯学習課長

東金市の新成人は772名であった。その中には123名の外国人と千葉県警察学校の学生51名が含まれている。警察学校の学生は地元の成人式に参加する人が多く、また外国人にとっては成人式と言ってもピンと来ないであろう。過去には式典に参加された外国人の方もいたが、今回は外国人の参加者はいなかった。また、中学校の卒業生が減ってきているという現状もある。

◎閉 会

午後3時02分、飯田教育長より閉会が宣告された。